



Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations
Tokushima Convention 2008

連で繰り出そう!
エキスカージョン
(地域交流見学会)

10月26日(日)・27日(月)徳島県内5コースで行われました。
連で繰り出そう!を合い言葉に徳島の「お接待の心」を持って、徳島県下9支部の
建築士会メンバーがご案内しました。

Aコース

復活阿波農村舞台の 人形浄瑠璃特別講演報告

◎日時: 10月26日(日)日帰り旅行 ◎参加: 36名

作業開始は舞台のオープンから、雨戸を開けパイプ椅子を出し、幕を張り、お客さんのためのテントの設営。私たち担当の設営が終わっても、保存会の人たちは「襖からくり」の設営に一生懸命でした。この犬飼農村舞台は「船底楽屋」と「襖からくり」が有名で、全国的にも非常に珍しく、その設営を間近で見られたことは大変ラッキーでした。

本体が丈六寺を見学後、犬飼農村舞台にやってきました。早速、四国大学講師大和武生先生の解説を聞き、「襖からくり」を見せていただきました。今回は、青年座による「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」と「入相花王 日高川渡場の段」を鑑賞。その後、襖からくりのセットや木偶人形を自由に見せていただき、最後には全員で記念撮影をして、無事行事は終了しました。

皆さんお疲れ様でした。

エキスカージョン部会 櫻田耕一郎





Bコース

二つのうだつそれぞれの まちなみ探訪報告

◎日時: 10月26日(日) 日帰り旅行 ◎参加: 44名

当日の朝、小雨がパラつく貞光の二層うだつのまちなみ視察からスタートした。旧永井家庄屋敷では、記念撮影をしたり終始和やかな雰囲気で見学を終えた。お土産は、二層うだつの思い出と建築士会が用意した、つるぎ特産の半田ソーメンだ。午後は、脇町のうだつのまちなみである。エキスカーション参加者でない全国大会帰りの人も多くて大賑わいとなった。見学の最終地は河野メリクロン。ここでもソーメンとワインのもてなしをいただいた。河野メリクロンさんには、厚くお礼申し上げる。

別れの時が来た。参加者をスタッフ全員が黄色のバンダナを振りながら見送ると参加者もバスの窓から身を乗り出すように手を何度も振って応えてくれた。私たちは、参加者が全員無事に家に着くことを祈り、大役を果たせた安堵感に浸りながらバスが小さくなるまで見送った。

エキスカーション部会 横野健司

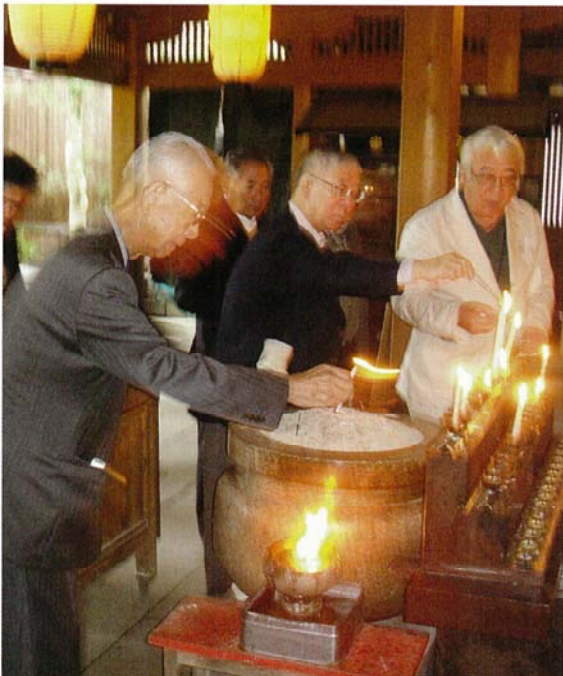
Cコース

歩き遍路と癒しの 徳島発見報告

◎日時: 10月26日(日) 日帰り旅行 ◎参加: 21名

1つ目の目的地は「霊山寺」。「先達さん」よりお遍路の作法を一通り説明していただき、山門をくぐり、手を清めて本堂・大師堂へ。その後撫養街道を歩いて約15分、2番札所極楽寺に着き、めいめいでお参りをしました。お土産に一番・二番さんのご朱印入り霊場色紙をプレゼント。次は、ドイツ館。「なぜ、ドイツ館？」の声もあったようですが、バスに帰ってくる頃には、「一度ドイツに行ってビールでも飲んでこようか」とビールを片手に帰ってくる方もおられました。昼食の後、「藍の館」にて藍染体験。皆さん楽しんでおられました。最後に奥村家の見学でしたが、ここで運良く、「小学生の煎茶のお点前」と「琵琶の演奏と踊り」の催し物があり皆さん楽しんでおられました。これで、予定は無事終了。皆さん癒しの旅を楽しまれたでしょうか？ 私はストレスが溜まりましたので、帰ってビールで癒しました。

エキスカーション部会 友枝幹雄



Dコース

出羽島のミセ造り民家めぐりと豪華海賊料理報告

◎日時: 10月26日(日)日帰り旅行 ◎参加: 40名

当日先ず、バスの中で出羽島がロケ地の「俺たちの旅」のDVDで雰囲気を感じ、午前中は町並み見学。メインの昼食は、水やさんからのシェフ5人と出羽島婦人会の皆さん、士会スタッフの連携により、もどり鰹、煽りイカ、鯛の造りを手始めに、ぶり寿司、レンコ鯛のナメロウ、出羽のおばちゃんのソーメン、あわびステーキ、阿波尾鶏・サザエ・アワビ・伊勢海老のパーベキュー、椎茸と生蛸の天ぷらと続き、ラストメニューの伊勢海老の大名めしまで、8品×40人前を遠い厨房から運び、なんとか時間内に調理できました。参加者の皆さんは大喜び、場の雰囲気は最高に盛り上がりました。

部落会長さんをはじめ地元出羽島の皆さんや水やのシェフの皆さん、そして士会スタッフのチームワークで心のこもったおもてなしが実現できたと自負しております。

エキスカーション部会 青江徳訓



Eコース

秘境奥祖谷の民家と集落探訪報告

◎日時: 10月26日(日)27日(月)/1泊2日 ◎参加: 36名

当初、「山奥で泊まりやし、あんまり人数集まらんのちゃうで」何てのんきにかまえていると、集計してびっくり、予定人数を遥かに超え近隣の皆さんにお断りしなければならなくなりご迷惑をおかけしました。下見、時間割、車両乗り入れ、転回可能かどうか……などを経て、まさに士会メンバーの手づくり見学会でした。不備や打ち合わせの段取り違いなどありましたので、来ていただいた皆様に不愉快な思いをさせたのではと、気が気でありませんでした。2日間一緒に過ごさせていただき、帰り際に「ありがとう。よかったよ」とか「いい時間をありがとう」のお礼をいただき、この担当をやらせてもらって本当によかったなと思いました。スタッフの皆さんご苦労様でした。参加していただいた各県の士会会員の皆さん、本当にありがとうございました。感謝でいっぱいです。

エキスカーション部会 鳥首 稔

